

サンプル版



PDF Version

aiCBOOKS

海外投資実践マニュアル

5

How to Invest Overseas vol.5 Singapore

シンガポール

【改訂版2.0】

銀行編

+

証券編

DBS / HSBCシンガポール
フィリップ証券 / フィリップ・フューチャーズ



海外投資を楽しむ会・編著

alternative investment club

本書は P15 から P130 までが [銀行編 (DBS、HSBCシンガポール)]、P131 から P271 までが [証券編 (フィリッパ証券、フィリッパ・フューチャーズ)] の二部構成になっています。

分割版をお求めの方は途中ページが抜けておりますが、落丁ではありませんのでご了承ください。

【重要】

- 本書は海外の金融機関の一般的な口座開設方法や取引方法を解説したもので、その一例として具体的な金融機関を紹介しているが、これらの金融機関の利用を推奨するものではない。本書で紹介した金融機関と有限会社オルタ・インベスト・コム (以下、AIC) はなんの関係もなく、AIC は各金融機関の信用度を保証しない。口座開設はあくまでの各自の判断で行なっていただきたい。
- 本書で紹介された金融機関を利用したことから仮になんらかの損害が生じたとしても、その判断はあくまでも各自の自由な選択によるものであり、AIC はその損害に対していっさいの責任を負わない。
- 本書のデータは 2010 年 4 月現在のものであり、それ以降の変更に関しては各自で確認されたい。重要な変更については、海外投資を楽しむ会ホームページに随時アップする。

●海外投資を楽しむ会 <http://www.alt-invest.com>

- リンクが切れているなど、お気づきの点がありましたらご一報ください。 info@alt-invest.com

Introduction

“もうひとつのアジアのオフショア”を体験しよう！

シンガポール川の河口ラッフルズ・プレイスは、DBS（星展銀行）、UOB（大華銀行）、OCBC（華僑銀行）など国内系大手金融機関、HSBC、シティバンク、スタンダード・チャータード銀行など外資系金融機関の本支店が集まるアジアの代表的なオフショア金融センターとして知られています。かつてはマレー半島のゴムやスマトラ島の香辛料を荷揚げするための倉庫と棧橋が並んでいた一帯は、今では川べりに国際色豊かなレストランが軒を連ねる観光名所となりました。本書ではそのシンガポールを舞台に、日本の個人投資家がグローバルな資産運用を実現するための具体的なノウハウをまとめています。

本書で紹介しているのは、シンガポール最大の金融機関である DBS 銀行と、外資系大手の HSBC シンガポール、インターネット証券・先物取引会社のフィリップ・キャピタルです。原則として現地の金融機関の窓口で口座を開設することになりますが、なかには日本から郵送で口座開設可能なところもあります。

シンガポールの証券・先物取引所である SGX（Singapore Exchange）は、世界でもっとも先進的な取引所のひとつとして知られています。株式市場では、シンガポール国内企業のほか、各種の ETF（上場型投信）や REIT（上場型不動産投信）を積極的に上場しており、これを利用してアセアン（東南アジア）の主要企業や中国・インドなどエマージングマーケットの株価指数に投資することもできます。先物市場では、大阪証券取引所とのアービトラージ（鞘取り）で売買高を拡大してきた日経 225 のほかに、中国・インド・台湾・香港などの株価指数先物・オプション、日本国債（ミニ日本国債）などの金利先物・オプション等々、アジア市場のさまざまなデリバティブ商品を上場してきました。シンガポールの証券会社を利用すれば、こうした株式・先物商品をローコストで売買することが可能になります。

本書で紹介する証券・先物取引プラットフォーム POEMS では、シンガポール株のほか、アメリカ・イギリス・日本・香港・タイ・マレーシアの株式市場にインターネットでアクセスできます。それ以外にも、オフショアファンドや FX 取引、世界各国の先物市場での取引を扱っており、投資の選択肢は大きく広がります。これに DBS などシンガポール国内系の銀行口座を組み合わせると、両者間の資金のやり取りを無料で行なえるなど、使い勝手は大幅に向上します。こうしたオフショアならではの多様性は、日本の証券会社・先物会社を大きく凌駕しているといえるでしょう。

日本ではオフショア金融センターとして香港をイメージするひとが多いのですが、シンガポールもまた、香港とはひとあじ違った魅力を備えています。

あなたも、“もうひとつのアジアのオフショア”を体験してみませんか。

海外投資を楽しむ会

Introduction “もうひとつのアジアのオフショア” を体験しよう！……………3

“アジアのオフショア” シンガポールの基礎知識……………12

Part1 DBS Bank Ltd.

1. DBS の特徴……………16

■概要……………16

■口座の種類……………18

- ①シンガポールドル口座 Singapore Dollar Account
- ②外貨預金口座 Foreign Currency Account
- ③利息の確認

■基本サービス……………22

- ①ATM カード BankCard ②インターネットバンキング Internet Banking 「iBanking」
- ③テレフォンバンキング Phonebanking ④ショートメールサービス iB Message

■投資サービス……………23

- ①投資信託 Unit Trust ②仕組預金 Structured Deposits ③債券 Bonds
- ④その他 (a) ELNs (Equity Linked Notes) / (b) CLIs (Currency Linked Investments)

■共同名義と共同サイン……………25

2. 口座開設の条件……………26

■必要書類……………26

- ①パスポート Passport ②住所証明書類 Address Proof
- ③照会状 Letter of Reference ④最低預金額 Opening Minimum Deposit

3. DBS に口座を開設する……………28

■事前準備……………28

■窓口と営業時間……………28

■口座開設手続き……………29

- ①口座開設前の確認事項 ②イニシャルデポジットの入金
- ③ATM カードの申込み ④インターネットバンキングの申込み

■各種登録の勧め……………34

■投資商品の購入	35
4. 口座への入金	36
■現金を支店の窓口で入金する	36
■ DBS/POSB の ATM で入金する	37
■電信送金で送る	37
■送金小切手をつくって郵送する	38
■他の金融機関の個人小切手を利用する	39
■トラベラーズチェック TC で入金する	39
5. 口座からの出金	41
■窓口で現金を引き出す	41
■ DBS もしくは PLUS (VISA) の ATM を使って引き出す	41
■送金で送る	42
①送金関連の書類と利用方法 ②シンガポール国内送金 ③シンガポール外への送金	
■小切手帳から小切手を振り出す	60
■小切手を作成する	60
①送金小切手 Demand Draft (DD) ②銀行発行小切手 Cashier's Order (CO)	
■自動引き落とし Standing Order を利用する	61
6. ATM とカードの使い方	63
■ DBS/POSB の ATM の種類	63
① ATM：自動預払機 ② Cash Acceptance Machine：現金専用預入機	
■現金の引出方法	64
① DBS/POSB の ATM の使い方 ②日本の PLUS の ATM の使い方	
■利用限度額の変更方法	66
7. インターネットバンキング iBanking を利用する	69
■トップページ (オープンサイト)	69
■ユーザー ID の変更	71

- ログインサイト……………74
 - ① ログインとログイン後のトップページ
 - ② Accounts Information：口座情報
 - ③ Funds Transfer：振替・送金（シンガポール内のみ）
 - ④ Payment Services：支払いサービス（証券会社への送金など）
 - ⑤ Investment Services：投資関連送金サービス
 - ⑥ New Account Opening：追加口座の開設
 - ⑦ Update My Profile：登録情報の更新

8. テレフォンバンキングを利用する……………94

Part2 HSBC Singapore

1. HSBC シンガポールの特徴……………96

■ 概要……………96

■ 口座の種類……………97

- ① シンガポールドル口座 Singapore Dollar Account
 パワーバンテージ口座 PowerVantage Account / プレミア口座 Premier Account
- ② マルチカレンシー口座 Multi Currency Savings Account
- ③ 外貨預金口座 Foreign Currency Account
- ④ 利息の確認

■ 基本サービス……………100

- ① ATM カード・デビットカード
- ② インターネットバンキング Internet Banking
- ③ テレフォンバンキング Phonebanking

■ 投資サービス……………101

- ① 投資信託 Unit Trust
- ② 積立プラン Monthly Investment Plan
- ③ 仕組預金 Structured Deposits
- ④ 債券 Bonds
- ⑤ デュアルカレンシー・プラス Dual Currency Plus

2. HSBC シンガポールに口座を開設する……………103

■ 支店窓口での口座開設……………103

■ 支店窓口と営業時間……………104

■ 口座開設手続き……………105

- ① 口座開設申込書の作成とサイン
- ② 口座開設時に渡されるツール
- ③ イニシャルデポジットの入金

■ 投資商品の購入……………107

■ テレフォンバンキングへのアクセス……………107

■カードの受取りとアクティベート	108
■ATMの利用方法	109
3. 口座への入金	111
■シンガポールの支店窓口で入金する	111
■電信送金で送る	111
4. 口座からの出金	113
■窓口で現金を引き出す	113
■電信送金で送る	113
①送金限度額を増額する	
5. インターネットバンキング online@hsbc を利用する	117
■ユーザー名・パスワード・デバイスの登録	117
①セキュリティデバイスの登録 ②口座にログインする	
■ログインサイト	123
① Transfers：振替・送金	

Part3 Phillip Securities フィリップ証券

1. シンガポールの証券市場	132
■シンガポールの上場株式	133
■シンガポールのETF	134
■シンガポールのREIT	136
■シンガポールのデリバティブ商品	137
2. フィリップ証券の概要	139
■取引できる金融商品	140
①株式 ②CFD ③投資信託 ④債券	

■口座の種類	141
①キャッシュトレーディング口座 Cash Trading Account	
②キャッシュマネジメント口座 Cash Management Account	
③カストディアン口座 Custodian Account	
④マージントレーディング口座 Margin Trading Account	
⑤ストックオプション口座 Employee Share Option Service Account	
⑥借株口座 Securities Borrowing and Lending Account	
⑦株式積立口座 Shares Builders Plan	
■取引ツール	143
① POEMS Internet：ポエムズ・インターネット ② POEMS Mobile：ポエムズ・モバイル	
③ Telebroker：テルブローカー ④ PROMS Pro Trader：プロムズ・プロトレーダー	
■売買手数料	144
①株式売買の手数料 ②投資信託の手数料 ③債券売買の手数料	
3. 証券口座を開設する	148
■口座の選択	148
■フィリップ証券に口座を開設するには	149
①支店を訪れる ②日本から郵送で口座開設する	
■口座開設申込書の記入と準備	152
①口座開設申込書の記入項目 ② W-8BEN の記入項目	
■必要書類	157
①認証されたパスポートのコピー ②英文の銀行残高証明書	
■書類の郵送と口座開設後の流れ	159
①書類の郵送 ②本人確認手続き ③最低預金額の送金	
4. POEMS(オンライン)で株式を売買する	162
■ POEMS にログインする	162
①パスワードの変更 ②ログイン	
■ログイン後のトップページ「Attention」の構成	163
① E-Statement への切替	
■株式情報画面の見方	165
① Stock の構成画面 ② Watchlist を作成する ③ チャートを表示する	
■株式を売買する	173
①シンガポール株を購入する ②注文をキャンセル・変更する ③外国株を取引する	

■ 複数通貨間の両替	176
■ 銘柄情報を調べる	177
5. POEMS で投資信託を購入する	180
■ POEMS で購入可能なファンド	180
■ UNIT TRUST 画面の構成	182
■ ファンドを購入する	183
① ファンドを検索する	
② ファンドを購入する	
③ プロモーション	
④ MY WATCHLIST	
⑤ MY PORTFOLIO	
6. POEMS で債券を購入する	191
7. POEMS で CFD 取引をする	194
■ マージン取引と CFD 取引	194
■ CFD の取引ルール	195
① マージンコール (追証)	
■ CFD を売買する	196
8. POEMS の口座管理と入出金	197
■ 口座管理	197
① 証拠金の確認方法	
■ POEMS への入金	199
① 電信送金で入金する	
② Bill Payment で入金する	
③ EPS で入金する	
④ 小切手で入金する	
⑤ 現金で入金する	
■ POEMS からの出金	202
① EPS で出金する	
② 小切手で出金する	
③ 小切手の発行	
④ 電信送金で出金する	

Part4 Phillip Futures フィリップ・フューチャーズ

1. フィリップ・フューチャーズの概要	206
■ フィリップ・フューチャーズの取扱商品	206
■ 先物・オプション取引	206

■大証と SGX の日経 225	211
■主要商品の手数料	212
①日経 225 先物／オプション ②株価指数先物 ③通貨先物 ④金利・債券先物 ⑤商品先物	
■為替証拠金取引と FX Invest 取引	214
①為替証拠金取引 ② FX Invest 取引	
■フィリップ・フューチャーズの取引ツール	216
① POEMS ② POEMS Professional ③ FX365 ④ P Trader ⑤ IQ Trader ⑥ Strategybot	
2. 先物口座を開設する	218
■本店窓口での開設	218
■郵送での口座開設	218
①ホームページから資料請求する ② E メールを送る	
■口座開設申込書の記入と準備	220
①口座開設申込書の記入項目 ② Additional Customer's Profile の記入項目 ③ POEMS Futures, FX 利用申込書の記入項目	
■送付書類	231
■イニシャルデポジットの送金	232
■口座の統合	233
3. POEMS(オンライン)で日経 225 先物を取引する	234
■日経 225 先物を売買する	234
①日経 225 先物を発注する ② Stop Limit (逆指値) 注文を出す	
■売買を確認する	240
① Daily Activity Statement での確認 ②ホームページで確認 ③証拠金と追証	
4. POEMS Professional で日経 225 先物・オプションを取引する	242
■ POEMS Professional の申込方法	242
■ソフトのダウンロード	244
■ POEMS Professional にログインする	246
■ POEMS Professional で日経 225 先物・オプションを取引する	247

5. FX365 で FX 取引をする.....	253
■ フィリップ・フューチャーズの FX 取引.....	253
■ FX365 を申し込む.....	253
■ FX365 で FX 取引をする.....	255
6. POEMS で FX 取引をする.....	262
■ POEMS の FX 取引.....	262
① FX Pro ② Mini FX ③ FX Invest	
■ FX PRO で FX を取引する.....	264
■ FX Invest での外貨両替.....	266
■ 証拠金管理.....	267
7. 先物口座の入出金.....	268
■ 先物口座への入金.....	268
① Bill Payment で入金する ② 電信送金で入金する	
■ 先物口座からの出金.....	269
■ 郵送での出金依頼.....	270
< Column >	
住所・電話番号の書き方.....	32
パスポートを更新したら.....	93
シンガポールの送金システム.....	142
SWAP ポイントの計算方法について.....	261

“アジアのオフショア”シンガポールの基礎知識

シンガポールは香港と並ぶアジアの代表的なオフショア金融センターですが、これまで個人投資家向けの情報は多くありませんでした。ここでは、シンガポールの金融事情について、簡単に説明しておきたいと思います。

■シンガポールの銀行

同じイギリスの旧植民地でも、シンガポールの銀行は香港よりもすし敷居が高いのが特徴です。さすがにジャケット・ネクタイ着用とまではいいませんが、いまでも半ズボンやサンダル履きの顧客は入店を拒まれる場合があります。

銀行は大きく国内系、外資系に分かれ、私たち日本の個人投資家の場合、国内系三大銀行（DBS、UOB、OCBC）と、外資系のHSBC、シティバンク、スタンダード・チャータード銀行が、銀行口座を開設する際の選択肢となるでしょう。

このうち、国内系と外資系では口座開設基準がすし異なります。

国内系銀行では、外国人の場合、口座開設にはシンガポール内の住所と居住ビザが必要で、旅行者が口座を開くことは原則としてできません。ただしこれには例外があって、その銀行に1年以上口座を保有している顧客の照会状があれば、旅行者でも口座開設を認めてくれることがあります（*）。

*本書でDBSを紹介しているのは、私たちがDBSに1年以上口座を保有しており、口座開設を希望する会員の方に照会状を発行できるからです。詳細は「海外投資を楽しむ会」の会員サイトをご覧ください。

一方、HSBCなど外資系銀行は、照会状がなくても旅行者の口座開設に対応してくれます。ただしこれは例外的な措置なので、シンガポールに銀行口座が必要な正当な理由がなければなりません（**）。後述のように、Citibankシンガポールは、非居住者向けのIPB（International Personal Banking）部門に口座開設することになります。

**「シンガポールの証券会社で投資を行ないたいので国内に銀行口座が必要です」などと答えておけば大丈夫です。

1) シンガポールの国内系銀行

国内系銀行のなかでは、“三大銀行”と呼ばれるDBS、UOB、OCBCが取引シェアのほとんどを占めています。

① DBS（星展銀行） Development Bank of Singapore

前身は政府系のシンガポール開発銀行で、民営化後、郵便貯金の POSB（Post Office Savings Bank）を合併し、東南アジア最大、世界でも有数の金融グループとなった。現在も、大株主はシンガポール政府。シンガポール最大の証券会社 DBS Vickers は子会社。

② UOB（大華銀行） United Overseas Bank <http://www.uob.com.sg/>

民間銀行としてはシンガポール最大。ラッフルズ・プレイスに聳える UOB タワーはシンガポール金融街の象徴。

③ OCBC（華僑銀行） Overseas Chinese Banking Cooperation <http://www.ocbc.com.sg/>

UOB に次いで民間銀行第 2 位。シンガポールをはじめ、東南アジア各地でビジネスを行なう華僑を主な顧客とする。

2) シンガポールの外資系銀行

外資系銀行のうち、HSBC とスタンダード・チャータード銀行はローカルと同じ口座が開設できますが、Citibank シンガポールは、非居住者向けの IPB 口座になります。

① HSBC シンガポール HSBC Singapore

HSBC グループのシンガポール拠点。旅行者でも比較的容易に口座開設可能だが、口座は即日開設できず、口座番号が登録住所宛てに通知されたあと、口座に送金する。ATM カードも登録住所に郵送されてくる。パワーバンテージ Power Vantage 口座やプレミア Premier 口座はシンガポール普通預金・当座預金の総合口座で、外貨口座や投資口座とは別。

②スタンダード・チャータード銀行シンガポール Standard Chartered Bank Singapore

<http://www.standardchartered.com.sg/>

口座の構成は HSBC とほぼ同じだが、最低預金額など若干敷居は低い。通常の普通・当座口座のほかに、ATM カードが発行されないが最低預金額がなく、金利も高い e\$aver（イーセイバー）口座も。詳細は各自で確認のこと。

③シティバンク・シンガポール Citibank Singapore <http://www.citibank.com.sg/>

シティバンク・シンガポールの場合、シンガポール非居住者は自動的に IPB（International Personal Banking）口座を開設することになる。IPB 口座はローカル口座に比べて最低預金額が高く（普通預金口座で US\$5,000 もしくは S\$5,000）、送金手数料なども割高だが、日本語を話す担当者が付く。詳細は各自で確認のこと（日本語可）。

シンガポールの場合、香港とちがって銀行業務と証券業務は分離されており、銀行で投資信託（オフショアファンド）を買うことはできますが、株式の売買はできません。また、シンガポールドル普通・当座預

金口座と外貨預金口座が一体となった総合口座ありません。シンガポールの銀行口座は、次に説明する POEMS のような証券会社の口座と併用することで効果を発揮します。

証券口座との間の資金のやり取りを考えると、外資系銀行よりも、シンガポール内の無料送金システム (GIRO、EPS、Bill Payment) を利用できる国内系銀行のほうが利便性は勝ります。どうせシンガポールに行くのであれば、照会状を入手して、DBS、UOB、OCBC のいずれかに口座開設することを検討されるといいでしょう。

■シンガポールの証券会社

シンガポールは香港に比べても人口が少なく、証券会社もファンドや機関投資家など大口投資家向けのサービスが中心で、個人投資家にグローバルなオンラインサービスを提供する会社はそれほど多くありません。そのなかで総合金融グループ、フィリップ・キャピタル Phillip Capital は、傘下のフィリップ証券、フィリップ・フューチャーズで世界の個人投資家に多様な金融サービスを提供しています。SGX (シンガポール取引所) に上場されている株式・先物商品だけでなく、アメリカ、イギリス、日本、香港、タイ、マレーシアなど複数のマーケットにオンラインでアクセスできるなど、その先進性はシンガポールでは群を抜いており、日本の個人投資家にとっても第一選択肢になることは間違いないでしょう。本書では、フィリップ証券での株式取引、フィリップ・フューチャーズでの日経 225 先物・オプション取引を中心にその活用方法を紹介しています。

フィリップ証券、フィリップ・フューチャーズともに、弁護士によるパスポートとサインの認証があれば、日本から郵送で口座開設することが可能です。シンガポールの銀行口座と組み合わせれば、手数料無料で資金を移動できるなど利便性は向上しますが、証券・先物口座だけでも十分に利用価値はあるでしょう。

銀行口座の開設は原則として窓口で行なうことになるため、どうせシンガポールを訪れるのであれば、銀行口座・証券口座 (+先物口座) をまとめて開いておくと便利です。郵送で先に証券・先物口座を開いた場合は、シンガポールを訪れた際に銀行口座とリンクさせておくといいでしょう。

シンガポールは東南アジア旅行のハブ (中継点) として頻繁に利用されており、金融機関はラッフルズ・プレイス周辺の金融街に集まっているので、半日もあれば銀行・証券 (先物) 会社をすべて回れます。次の旅行の機会を活用して、シンガポールの金融サービスを体験してみましょう。

Part 1

DBS Bank Ltd.

DBS 銀行

1. DBS の特徴

DBS (Development Bank of Singapore = シンガポール開発銀行) は、シンガポール最大の金融機関のひとつです。1968 年に開発金融機構として設立され、その後、銀行業務全般を行なうようになりました。

1998 年には、シンガポールの郵便局に当たる POSB (郵便貯金銀行 Post Office Savings Bank) を政府から買収し、顧客数は 500 万人を突破。シンガポールの資本市場におけるリーダーとしての地位を確立しただけでなく、アジア市場においても重要な役割を果たすようになりました。

現在、シンガポール内には 80 の支店、930 以上の DBS/POSB の ATM があり、シンガポール国内の ATM 取引の半数以上を占めています。そのほか、香港、中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、フィリピン、インド、マレーシア、ミャンマー、アラブ首長国連邦、ベトナム (ハノイ)、米国、英国、日本に支店やオフィスを持ち、銀行業務を行なっています (2010 年 4 月現在、S&P の格付では AA-)。

シンガポールドル預金だけでなく、シンガポール市場への投資全般を考えている人にとっても、DBS のシンガポールドル口座は非常に便利です。Part3、4 で紹介する POEMS (フィリップ証券、フィリップ・フューチャーズ) で投資を行なう場合も、DBS を利用すると、送金手数料無料で資金のやりとりが簡単にできます。

■概要

DBS の特徴は次のようにまとめられます。

①預金関係

- 基準通貨はシンガポールドル。
- 口座はシンガポールドル預金と外貨 (シンガポールドル以外) 預金に大きく分けられる。

<シンガポールドル預金口座>

- 普通預金口座 Savings Plus Account (セイビングス・プラス)：シンガポールドルの基本口座。最低預金額 S\$500。
- 当座預金口座 Current Account：シンガポールドル小切手決済用口座、利息なし。最低預金額 S\$3,000。
- 利付き当座預金口座 Autosave Account：利息が付きながら小切手帳が発行される口座。最低預金額 S\$3,000。
- 定期預金口座 Fixed Deposit：期間は1日～36カ月（期間によって最低預金額が異なる）。最低預金額 S\$1,000。

<外貨預金口座>

- 当座預金口座 Current Account：12通貨から選択可能。選択する通貨の小切手が発行される。預金額に応じて利息が付く。最低預金額 S\$1,000。
- 定期預金口座 Fixed Deposit：9通貨から選択可能。期間は1日～12カ月（通貨によって期間が異なる）。最低預金額 S\$5,000 相当額。

②投資関係

以下の商品の取引が可能。ただし、銀行側にリスク説明義務があるため、窓口で担当者の話を聞いて書類にサインをする必要がある。（ごく一部の投資信託のみインターネットで取引が可能）。

- 投資信託 Unit Trusts
- 仕組預金 Structured Deposits
- 債券商品 Treasury Products（債券 Bonds、通貨リンク投資 Currency Linked Investments、ELNs など）

※シンガポールの銀行で株式売買はできない。

③口座開設

- 口座開設は必ず現地の支店窓口にて行なう。
- ワーキングビザを持たない非居住者が口座開設するには、DBSに12カ月以上口座を維持している紹介者が必要。

④基本情報

- 支店⇒シンガポール内に多数あり。サイトから検索が可能。⇒ <http://locator.dbs.com/>
- ホームページ（インターネットバンキング「iBanking」を含む）⇒ <http://www.dbs.com/sg/>
- メールアドレス⇒ HP 上のフォームを利用
⇒ <https://www.dbs.com/contact/feedback/Pages/default.aspx>
- テレフォンバンキング⇒ +65-6327-2265（シンガポール外からの場合）
1800-111-1111（シンガポール内の場合）

※日本からかける場合は、最初に国際電話アクセス番号（通常 010）が必要。

※シンガポール内からかける場合は、1800 を頭に付けるとフリーダイヤルでかけることができる。

■口座の種類

それでは、具体的に個人用口座の種類と内容について紹介していきましょう。口座は基本的に、シンガポールドル口座とそれ以外の外貨口座に分かれます。

口座はいずれも、開設してから 6 カ月以内で解約した場合、S\$30 の早期解約手数料がかかります。

また、シンガポールドル口座については、シンガポールの預金保険機構によって、名義人ごとに S\$20,000 までの元本と利息が保証されますが、外貨預金は対象外です。

①シンガポールドル口座 Singapore Dollar Account

基本通貨のシンガポールドルで運用するための口座。以下の 4 つの種類があり、開設するには、それぞれの口座ごとに最低預金額が必要になる。

(a) 普通預金（セイビングス・プラス）口座 Savings Plus Account

シンガポールドルの普通預金口座。ATM カード BankCard が利用できる。

基本は通帳方式だが、海外居住者には、登録した住所までステイトメントを郵送してくれる。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料 *
S\$500	S\$2 / 月

*1 日の平均残高が最低預金額を下回ると発生する。

(b) 当座預金口座 Current Account

小切手決済用の口座で、口座開設と同時に無料で個人小切手帳が発行され、最後の数枚の小切手を使用した段階で、自動的に追加発行される。口座開設時の小切手帳は無料。2 冊目以降は S\$10。ATM カードともリンクしている。ただし、利息は付かない。月 1 回のステイトメント方式。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料 *
S\$3,000	S\$7.50 / 月

*1 日の平均残高が最低預金額を下回ると発生する。

(c) 利付き当座預金（オートセイブ）口座 Autosave Account

普通預金口座よりも高い利息が付きながら、小切手帳も発行され、ATM カードも利用できる。ただし、預金額に関係なく、月間サービス料として、S\$2 が発生する。

口座開設時の小切手帳は無料。2 冊目以降は S\$10。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料 *	月間サービス料 **
S\$3,000	S\$7.50 / 月	S\$2 / 月

*1 日の平均残高が最低預金額を下回ると発生する。

** 口座残高に関係なく毎月発生する。

(d) 定期預金口座 Fixed Deposit

預金期間は 1 日～ 24 カ月。最低投資額は S\$1,000。預入期間によって最低預金額が、預金額によって利息が異なる。満期には自動的に再投資される。シンガポールドル定期預金口座を 1 口座持っていれば、ATM、インターネットバンキングから追加の口座開設が可能。

●預入期間と最低預金額

預入期間	最低預金額
1日～1カ月以内	S\$1,000,000
1～24カ月	S\$1,000

②外貨預金口座 Foreign Currency Account

外貨（シンガポールドル以外）の外貨預金口座。マルチカレンシー口座ではないので、通貨ごとに口座を開設し、それぞれ最低預金額が必要になる。

普通預金口座はなく（通貨によってはコール預金あり）、海外への支払い用の当座預金（利息が付く）と定期預金のみ。

(a) 当座預金口座 Current Account

無料で小切手帳が発行される小切手決済用口座。利息も付く（通貨・預金額によってかなり異なる）。

利用できる通貨（12通貨）と口座維持手数料が発生する預金残高、同一通貨で入金した場合の外貨取扱手数料は以下のとおり。

なお、預金口座の通貨と異なる通貨で入金する場合は、いちどシンガポールドルに両替後、再度預金通貨に交換される。その際の手数料は為替手数料に反映される。

●通貨ごとの最低預金額と口座維持手数料、外貨取扱手数料

通貨	最低預金額	口座維持手数料*	外貨取扱手数料**
米ドル US Dollar (USD)	1,000	7.50	1.5%
英ポンド Sterling Pond (GBP)	800	5	1.5%
ユーロ Euro (EUR)	1,000	10	1.5%
日本円 Japanese Yen (JPY)	200,000	750	1.5%
スイスフラン Swiss Franc (CHF)	2,200	10	1.5%
オーストラリアドル Australian Dollar (AUD)	1,500	10	2.5%
香港ドル Hong Kong Dollar (HKD)	8,000	55	3.0%
カナダドル Canadian Dollar (CAD)	1,500	10	5.0%
ニュージーランドドル New Zealand Dollar (NZD)	1,500	10	5.0%
ノルウェークローネ Norwegian Kroner (NOK)	7,500	50	5.0%
スウェーデンクローネ Swedish Kroner (SEK)	8,000	60	5.0%

タイバーツ Thai Batht (THB)	28,000	200	シンガポールドルに両替後、再両替。2回分の為替手数料が発生。
------------------------	--------	-----	--------------------------------

※金額の単位はそれぞれの通貨。

*1日の平均残高が最低預金額を下回ると発生する。

**いずれも最低手数料 S\$10。

(b) 定期預金口座 Time Deposit

外貨9通貨の定期預金口座。最低預金額は S\$5,000 相当額。期間は、1、2、3、6 および最長 12 カ月。それより短期間を希望する場合は個別に相談する（ただし、最低預金額がかなり高額になる。具体的には以下のとおり）。

ひとつ定期預金を持っていれば、インターネットバンキングで追加の口座開設が可能。

●短期定期預金の最低預金額

通貨	期間 1 週間の場合	期間 1 日の場合
米ドル US Dollar (USD)	50,000	50,000
英ポンド Sterling Pond (GBP)	50,000	50,000
ユーロ Euro (EUR)	50,000	50,000
日本円 Japanese Yen (JPY)	10,000,000	10,000,000
スイスフラン Swiss Franc (CHF)	300,000	-
オーストラリアドル Australian Dollar (AUD)	100,000	-
香港ドル Hong Kong Dollar (HKD)	500,000	-
カナダドル Canadian Dollar (CAD)	100,000	-
ニュージーランドドル New Zealand Dollar (NZD)	100,000	-

※金額の単位はそれぞれの通貨。

*

このほか、55歳以上を対象とする「プレミア・インカム口座 Premire Income Account」もありますが、基本的にはシンガポールの退職者用プランです。

③利息の確認

各口座の現在の利息はホームページから簡単に確認できる。

▶利息確認ページ <http://www.dbs.com/ratesonline/Pages/default.aspx>

■基本サービス

DBS では、以下のサービスを利用できます。ただし、いずれも利用申込みが必要です。

① ATM カード BankCard

シンガポールドル普通預金および当座預金口座にはバンクカード BankCard (ATM カード) を付けることができる。発行手数料 S\$5。

シンガポール国内にある約 800 の DBS および POSB の ATM、海外では、PLUS の ATM、日本では郵便局やシティバンクの ATM でも利用できる。

シンガポール内の DBS/POSB の ATM では、シンガポールドル普通預金口座および当座預金口座からの現金引出し、口座間振替、証券会社への支払いに利用する Bill Payment (請求書支払い) や EPS などによる各種送金指示、残高照会などができる。現金専用入金機 Cash Acceptance Machines では、DBS/POSB の自分の口座および第三者名義の口座に入金できる。

シンガポール外の ATM では現金 (現地通貨) の引出しのみになる (ATM によって残高照会が可能な場合もある)。

詳細は P63 参照。

② インターネットバンキング Internet Banking 「iBanking」

世界中どこからでも口座管理が可能。ID とパスワードのほか、セキュリティ・デバイスを利用する。

インターネットバンキングでは、以下のサービスが利用できる。

- ・ 口座情報 (残高照会 / 取引履歴の確認)
- ・ 口座間振替、送金指示：シンガポールドル口座間の振替 (複数の口座を持っている場合)、国内のシンガポールドル口座への送金 (MEPS)、DBS/POSB 内の第三者宛て送金のみ (シンガポール外への送金指示は出せない)。
- ・ 請求書支払サービス：証券会社への送金など (Bill Payment)。
- ・ 投資関連の支払サービス：証券会社への送金など (EPS)
- ・ 定期預金口座の追加開設 (1 つ定期預金を持っていれば追加での口座開設が可能)
- ・ 為替レート・利率照会
- ・ カスタマーサービス (住所変更など個人情報の変更手続き、PIN の変更など)

具体的な利用方法は P69 参照。

③テレフォンバンキング Phonebanking

24 時間対応のテレフォンバンキング。音声ガイドによる自動応答方式なので、プッシュホンが利用できる環境が必要。シンガポール外からかける場合は、フリーダイヤルではないので注意。

残高照会など、自分の口座情報にアクセスするには、8桁のユーザー ID とパスワードが必要（申込書「Application for DBS Self-Service Banking Services」を提出して、DBS に発行してもらう）。

テレフォンバンキングでは、以下のサービスを利用できる。

- ・残高照会
- ・口座間振替（DBS 内口座）
- ・EPS 支払い
- ・請求書払い Bill Payment（証券会社などへの送金）

上記以外の問合せには、オペレーターが個別に対応。オペレーターと話す分には、ID やパスワードは不要。

詳細は P94 参照。

④ショートメールサービス iB Message

携帯電話用ショートメール（SMS）で各種情報を流してくれるサービス。ただし、シンガポールからのショートメールが受け取れる環境になければならない（日本で契約している携帯電話会社や機種によって利用できない場合があるので確認のこと）。

SMS が利用できる環境にあれば、書類で送金先登録をしなくても、One Time Password（OTP）を受け取ることで、インターネットで送金指示が出せる（ただしシンガポール国内送金のみ）。利用できない場合は、事前口座登録書を窓口提出するか郵送しなければならない。

詳細は P47 参照。

■投資サービス

DBS の口座を利用して、ファンドや債券などの投資商品を購入できます。ただし、インターネットで購入できるものは一部のファンドのみ。銀行側にリスクの説明義務があるため、通常は、シンガポールの支店窓口で投資担当者に相談して購入します（説明を受けたことを証明する書類にサインをしなければなりません）。

購入後の解約や追加購入は、担当者に E メールや電話などで連絡をして書類を自宅に郵送してもらい、記入・サイン後返送します。

購入できる商品は以下のとおりです。シンガポールの銀行では、株式の売買はできません。

①投資信託 Unit Trust

現在、インターネットで購入できる投資信託は以下のファンド会社のみ。

- DBS Asset Management Ltd.
- Allianvebernstein (Singapore) Ltd.
- Deutsche Asset Mgt
- Henderson Investors Singapore Limited
- Legg Mason Asset Management (S) Pre Ltd.
- Legg Mason Asset Mgt (S) Pte Ltd.-Offs
- Schroder Investment Management (S) Ltd.

窓口であれば、募集期間限定のファンドを含め、自分の条件に合った商品を選択できる。ただし上記の中にも、ファンド会社によっては日本人への販売を認めていないところもあるので、個別に確認する必要がある。

②仕組預金 Structured Deposits

インデックスや株式、債券、為替取引などを原資産とするデリバティブを組み合わせることによって、定期預金よりも高い利息を生み出す商品。満期が決まっている定期預金とは異なり、銀行側の判断で期間が変更される。金利も市場の状況によって変化する。満期以前の解約は基本的に認められず、解約した場合は元本を大きく割り込むこともある。

③債券 Bonds

シンガポール政府、自治体、企業などが発行するシンガポールドル建て債券と、その他の国や企業が発行する外貨建て債券がある。

償還期間は 1 ～ 5 年、最低投資額は S\$50,000 相当額。

④ その他

(a) ELNs (Equity Linked Notes)

日本で一時期流行したEB(他社株転換社債)の類似商品。香港市場に上場されている個別株を対象にコールオプションあるいはプットオプションを売る。

(b) CLIs (Currency Linked Investments)

定期預金に為替オプションを組み合わせた商品。

預金通貨と償還通貨、預入期間、預金利率、為替レートを選択。保有期間中の為替レートにより満期時に償還される通貨が変わる。

高金利が得られる反面、満期時の為替レートによってはリンクする通貨で元本と利息が支払われ、大きく元本割れを起こすこともある。日本ではシティバンクがプレミアム・デポジットの商品名で販売し、他の大手銀行でも同様の商品を扱っているところがある。

償還期間は1週間～3カ月、最低投資額はS\$50,000相当額。

■ 共同名義と共同サイン

DBSの口座は単独名義Single Accountのほか、共同名義Joint Accountでも開くことができます。次ページで紹介する書類をそれぞれが用意し、名義人全員がシンガポールの銀行窓口に出向き、手続きする必要があります。

共同名義の場合、ひとりのサインですべての指示が有効になるJoint-Altanateと、名義人全員のサインが揃わないと正式な指示とは認められないJoint-Allがあります。

また、共同名義とは別に、共同署名者というかたちをとることもできます。名義は単独でも、共同署名者のサインがあれば資金移動などが可能です。

Part 2

HSBC Singapore

HSBC シンガポール

1. HSBC シンガポールの特徴

香港上海銀行のシンガポール支店・HSBC Singapore は 1877 年の創立から 100 年以上の歴史を持っており、そのサービスは、通常の銀行業務のほか、法人、投資、プライベートバンク、保険、信託業務、証券業務など、多岐にわたります。現在、シンガポール国内には 11 の支店があり、そのうちの 6 カ所にはプレミアセンターが併設されています。シンガポール非居住者用の IBC (International Banking Centre) は 2 カ所あり、プレミアセンターが兼務しています。

■概要

●本店住所

The Hongkong and Shanghai Banking Corporation Limited
21 Collyer Quay
HSBC Building
Singapore 049320

●ホームページ (インターネットバンキング「online@hsbc」を含む) ⇒ <http://www.hsbc.com.sg/>

●メールアドレス ⇒ HP 上のフォームを利用

⇒ https://www.apps.asiapacific.hsbc.com/1/2/sgh2/sgh2_contactusuat_en?WABFormEntryCommand=cmd_init

●カスタマーサービス ⇒ +65-6786-6666

●テレフォンバンキング (パワーバンテージ口座) ⇒ +65-6227-8888 (シンガポール外からの場合)
1800-62271-8888 (シンガポール内の場合)

※日本からかける場合は、最初に国際電話アクセス番号 (通常 010) が必要。

※シンガポール内からかける場合は、1800 を頭に付けるとフリーダイヤルでかけることができる。

■口座の種類

口座はシンガポールドル口座と外貨口座に大別されます。

口座はいずれも、開設してから6カ月以内で解約した場合、S\$40の早期解約手数料がかかります。

①シンガポールドル口座 Singapore Dollar Account

基本通貨のシンガポールドルで運用するための口座。以下の4つの種類があり、開設するには、それぞれの口座ごとに最低預金額が必要になる。

(a) 普通預金口座 Savings Account

シンガポールドルの普通預金口座。16歳以上であればATMカードが発行される。利息は日割で計算され、毎月口座に入金される。預金額がS\$50,000以上ある場合は、優遇レート（通常レートの倍）が採用される。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料が発生する最低平均残高（1日）	口座維持手数料
S\$1,000	S\$2,000	S\$5.0

(b) 当座預金口座 Current Account

小切手決済用の口座で、口座開設と同時に無料で個人小切手帳が発行される。ATMカードともリンクしている。ただし、利息は付かない。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料が発生する最低平均残高（1日）	口座維持手数料*
S\$2,000	S\$3,000	S\$7.5

(c) パワーバンテージ口座 PowerVantage Account

普通預金口座よりも高い利息を得ながら個人小切手も利用できる、普通預金口座と当座預金口座の両方

のいいところを合わせた総合口座。ただし、香港の HSBC のパワーバンテージとは異なり、外貨預金を含めた総合口座ではなく、シンガポールドル専用口座。外貨預金口座を開いた場合も、パワーバンテージで一括管理することはできない。

MasterCard 付きのデビットカードが発行され、HSBC の ATM だけでなく、世界 100 カ国以上・55 万カ所の ATM で利用できる。

口座残高に関係なく、毎月 S\$2.0 の月間サービス料が発生する。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料が発生する最低平均残高（1日）	口座維持手数料
S\$2,000	S\$5,000	S\$10.0
—	—	月間サービス料*
	—	S\$2.0

* 口座残高に関係なく毎月発生する。

(d) プレミア口座 Premier Account

担当マネージャーが付き、個別にサービスをしてくれるパワーバンテージの上位総合口座。利息やその他手数料などの面においても優遇措置がとられる。シンガポールドル普通預金・当座預金口座のほか、投資サービスの利用も可能。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料が発生する最低平均残高（1日）	口座維持手数料
S\$200,000	S\$200,000	S\$50

※外貨の小切手や送金小切手で入金をした場合は 0.125% の受取手数料が発生する（最低 US\$10、最高 US\$1,000）。

*

以上のことからわかるように、HSBC シンガポールのパワーバンテージは、シンガポールドル建ての小切手帳やシンガポールドル決済の Master カードを利用したい人向けの口座です。月間サービス料(S\$2)を考えると、日本人の場合、シンガポールドルの普通預金口座を開設し、小切手帳が必要なら当座預金口座を追加すれば十分でしょう。普通預金・当座預金とも、インターネットバンキングでの口座管理が可能です。

なお、プレミア口座は最低預金額の高さから、利用を控える人が多いと思いますが、HSBC 香港に口座があれば、残高 0 で口座開設が可能です。HSBC シンガポールのプレミア口座については、『海外投資実

実践マニュアル⑨ 香港 3』で詳しく紹介していますので、そちらを参照してください。

(e) 定期預金口座 Time Deposit

最低預金額は S\$5,000。普通預金口座よりも高い利息が付く。預入期間が長いほど利率が上がる。満期に自動的に再投資される。すでに HSBC シンガポールに口座をもち、インターネットバンキングを利用していれば、ネット上から口座開設が可能（取引条件の変更も可）。

●預入期間と最低預金額

預入期間	最低預金額
1 日	S\$1,000,000
1 ～ 12 カ月	S\$5,000

② マルチカレンシー口座 Multi Currency Savings Account

シンガポールドル、ユーロ、米ドル、香港ドル、英ポンド、日本円、カナダドル、スイスフラン、オーストラリアドル、ニュージーランドドルの 10 通貨の口座。通貨間の振替はオンラインで可能。手数料は為替手数料のみ。預金通貨と同じ通貨で入出金する場合は 1.5% の手数料（最低 S\$50、最高 S\$300）が発生する。

●最低預金額と手数料

開設時の最低預金額	口座維持手数料が発生する最低平均残高（1 日）	口座維持手数料
S\$2,000	S\$2,000	S\$2.0

③ 外貨預金口座 Foreign Currency Account

外貨（シンガポールドル以外）の外貨預金口座。マルチカレンシー口座ではないので、通貨ごとに口座を開設し、それぞれ最低預金額が必要になる。

通常の利息が付く普通預金口座はなく（通貨によってはコール預金あり）、海外への支払い用の利息が付かない当座預金と、最低預金額がかなり高額な定期預金のみ。

④利息の確認

各口座の現在の利息はホームページから簡単に確認できる。

▶シンガポールドル口座 <http://www.hsbc.com.sg/1/2/personal/deposits/singapore-dollar-deposit-rates>

▶外貨口座 <http://www.hsbc.com.sg/1/2/personal/deposits/foreign-currency-exchange-and-deposit-rates>

■基本サービス

口座を開くと同時に、自動的に以下のサービスを利用できるようになります。

① ATM カード・デビットカード

シンガポールドル口座には、ATM カードやデビットカードを付けることができる。シンガポール内外の HSBC の ATM や MasterCard の ATM で利用できるほか、日本では、郵便局やシティバンクの ATM で円の引出しが可能。

また、シンガポール国内では、スーパーなどでカードを使って買い物をしたときに、おつりにいくらかの現金を加えて支払ってもらうことができる（これを QuickCash という）。

②インターネットバンキング Internet Banking

世界中のどこからでも、インターネットバンキングが利用できる。ログインする際にセキュリティデバイスが必要。

③テレフォンバンキング Phonebanking

いずれの口座を開設した場合も、24 時間テレフォンバンキングが利用できる。

■投資サービス

HSBC シンガポールの投資サービスでは、以下の商品への投資が可能です。窓口で担当者に相談してその場で購入するのが基本ですが、担当者が決まっていれば、電話で依頼して申込書を郵送してもらうことも可能です（それにサインをして返送します）。

①投資信託 Unit Trust

HSBC シンガポールが扱っているオフショアファンドは、非居住者でも購入することが可能（無記名 Nominee での購入なので、実際の保有者名は HSBC シンガポールになる）。

ファンドの購入は、初回については、原則として窓口で手続きをしなければならない。ファンドに興味のある人は、インターネット上で HSBC シンガポールが現在取り扱っているファンドの情報が得られるので、事前に検討しておき、シンガポールを訪れた際に手続きしてください。また、インターネット上では紹介されていないファンドもあるので、担当者に相談するのもいい。購入したファンドを売る場合や、同じファンド会社の別のファンドにスイッチングをする場合は、インターネット上で指示することが可能。

最低投資額は S\$5,000 相当額。

②積立プラン Monthly Investment Plan

自動引き落としによるファンドの積立プラン。毎月の最低積立額は S\$100（約 8,000 円）から。

③仕組預金 Structured Products

インデックスや株式、債券、為替取引などを組み合わせた投資によって、定期預金よりも高い利息を生み出す商品。

④債券 Bonds

取り扱っている債券は、シンガポール政府、自治体、企業などが発行するシンガポールドル建て債券と、その他の国や企業が発行する外国債券（米ドル建て、英ポンド建て、ユーロ建てなど）。割引債もある。

⑤デュアルカレンシー・プラス Dual Currency Plus

元本および支払われる利息の通貨と元本が償還される通貨が異なるデュアルカレンシー債に為替オプションを組み合わせた商品。為替の影響を大きく受ける。期間は1週間～3カ月。

通貨はシンガポールドル、米ドル、香港ドル、オーストラリアドル、ニュージーランドドル、カナダドル、ユーロ、英ポンド、スイスフラン、日本円から選択が可能。

最低投資額は US\$25,000 相当額。

＊

また、シンガポールドルぼの普通預金口座もしくは当座預金口座を持っている人のなかで、以下の条件のうち少なくとも1つを満たしている場合は、「HSBC INFINITY」サービスが受けられます。これは、最新の投資情報を提供してくれたり、ポートフォリオを作成してくれるサービスです。

- 1) 全口座の預金残高が S\$20,000 以上
- 2) S\$30 万以上の頭金を含むホームローンの利用者
- 3) 毎月 S\$250 相当宅以上の積立保険プラン利用者
- 4) 初期投資 S\$1,000、毎月の積立額 S\$250 以上の投資信託積立プラン利用者。

サービス利用開始後、上記の条件を満たせなくなった場合、月 S\$10 のサービス手数料が発生します。

Part 3

Phillip Securities

フィリップ証券

1. シンガポールの証券市場

SGX (Singapore Exchange = シンガポール取引所) は、1999年12月に SES (Stock Exchange of Singapore = シンガポール証券取引所) と SIMEX (Singapore International Monetary Exchange = シンガポール国際金融取引所) が合併して生まれたアジア初の証券・デリバティブ総合取引所です。SGXの上場商品とその概要は、同取引所のホームページで閲覧できます。

▶ SGX のホームページ <http://www.sgx.com/>

SGXの上場商品は、以下のように分けられます。

●証券取引

- 1) 上場株式
- 2) 個別株ワラント
- 3) ストラクチャード・ワラント (カバードワラント)
- 4) ステイプルド証券*
- 5) 個別株先物
- 6) ETF (上場型投信)
- 7) REIT (上場型不動産投信)
- 8) 債券・社債

* ステイプルド (ステイプルで綴じられた) 証券とは、不動産・運輸・公共投資などインフラ事業において、目的を同じくする複数の株式・信託を合併して、ひとつの証券として売買するもの。オーストラリア市場で広く利用されている。SGXには、オーストラリアのステイプルド証券が上場されている。

●デリバティブ取引

- 1) 株式指数先物・オプション
- 2) 金利・債券先物・オプション
- 3) 個別株オプション

●取引時間

曜日	営業時間	
月～金曜日	プレ・オープン	AM8：30～AM9：30
	前場	AM9：00～PM12：30
	後場	PM2：00～PM5：00
	プレ・クローズ	PM5：00～PM5：06

※シンガポールと日本では－1時間の時差がある。シンガポール時間のAM9：00は日本時間のAM10：00。

※シンガポールには旧正月など年間12日の祝日がある。詳しくは観光局などで確認のこと。

SGXの上場商品のなかで、日本人の個人投資家にも投資機会の多いものを解説します。

■シンガポールの上場株式

シンガポール市場の主要上場企業として、以下の10社を挙げておきます。アジア最大級の不動産開発会社キャピタランド Capitaland、DBS・UOB・OCBCの三大金融グループ、シンガポールテレコム Singtel、シンガポール航空 SIA の6社がシンガポールを象徴する大企業です。

●シンガポールの主要企業

銘柄	証券コード	概要
Capitaland	CPL	アジア最大級の不動産開発会社。 アジアを中心に世界17カ国で事業展開。
DBS	DBS	シンガポール開発銀行。 シンガポール最大の政府系金融グループ。
Singtel	SGT	シンガポールテレコム。
UOB	UOB	United Overseas Bank。 シンガポール3大金融グループのひとつ。
SIA	SIA	シンガポール航空。
OCBC	OCBC	Overseas Chinese Banking Corporation。 シンガポール3大金融グループのひとつ。
Keppel	KEP	ケペル。 造船・港湾・不動産・エネルギーの総合国際企業。
SPH	SPH	シンガポールプレス。 新聞を中心とする総合メディア企業。
CITYDEV	CID	シティ・デベロップメント。 シンガポールの住宅・商業不動産を開発。
Cosco	COC	コスコ。海運を中心とする投資会社

■シンガポールのETF

SGX に上場している ETF は現在、以下の 49 本で、取引通貨にはシンガポールドル (SGD) 建てと米ドル (USD) 建てがあります。このうち「FT ASEAN40」はシンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン市場の代表銘柄に投資する世界初の ETF。金相場に連動する GLD や、インド株、マレーシア株、ベトナム株などのエマージング市場に連動した ETF も上場されています。

●シンガポールのETF

銘柄	証券コード	通貨	売買単位	概要
ブラジル				
DBXT MSBrazil	J00	USD	10	MSCI ブラジル指数に連動
中国				
UETF SSE 50 China	JK8	SGD	100	上海証券取引所 50 指数に連動
DBXT FT China25	HD8	USD	10	FTSE 新華 25 指数に連動
Lyxor China H	P58	USD	10	ハンセン・チャイナ・エンタープライズ指数に連動
Lyxor HangSeng	A9B	USD	10	ハンセン指数に連動
インド				
DBXTNifty	HE0	USD	10	NIFTY (ナショナル証券所 50) 指数に連動
IS MSCI INDIA	I98	USD	100	MSCI インド指数に連動
Lyxor India Nifty	FC6	SGD	10	NIFTY (ナショナル証券所 50) 指数に連動
Lyxor MS India	G1N	USD	10	MSCI インド指数に連動
日本				
DaiwaFTShariaJ	F1F	USD	100	FTSE シャリーア適格日本指数に連動
Lyxor Japan	CW4	USD	10	TOPIX に連動
韓国				
DBXT MSKorea	IH2	USD	10	MSCI 韓国指数に連動
Lyxor Korea	AO9	USD	10	MSCI 韓国指数に連動
マレーシア				
Lyxor Malaysia	G1M	USD	10	MSCI マレーシア指数に連動
ロシア				
Lyxor Russia	JC7	USD	10	ダウ・ジョーンズ Rusindex に連動
DBXT MSRussia	J0R	USD	10	MSCI ロシア指数に連動

シンガポール				
DBS STI	G3B	SGD	100	ストレイツ・タイムス指数に連動
IS MSCI SIN	I19	USD	100	MSCI シンガポール指数に連動
STI ETF	ES3	SGD	100	ストレイツ・タイムス指数に連動
台湾				
DBXT MSTaiwan	HD7	USD	10	MSCI 台湾指数に連動
Lyxor Taiwan	A9A	USD	10	MSCI 台湾指数に連動
米国				
DBXT S&P Short	HD6	USD	10	S&P500 指数と逆の値動きに連動
DIAMOND	D07	USD	10	ニューヨーク株式指数に連動
IS DJ USTECH	I21	USD	10	ダウ・ジョーンズ・ハイテク指数に連動
IS S&P500	I17	USD	10	S&P500 指数に連動
Lyxor US DJIA	JC6	USD	10	ダウ・ジョーンズ工業指数に連動
Lyxor Nasdaq100	H1Q	USD	10	NASDAQ100 指数に連動
SPDRS	S27	USD	10	S&P500 指数に連動
ベトナム				
DBXT Vietnam	HD9	USD	10	FTSE ベトナム指数に連動
アジア太平洋				
CIMBFTASEAN40	M62	USD	100	FTSE アセアン 40 指数に連動
DBXT MSAsExJp	IH1	USD	10	MSCI アジア・太平洋指数 (日本を除く) に連動
DBXT MSPacExJp	J0Q	USD	10	MSCI 太平洋指数 (日本を除く) に連動
Lyxor Asia	P60	USD	10	MSCI アジア・太平洋指数 (日本を除く) に連動
Lyxor APEX50	G1K	USD	10	MSCI APEX50 指数に連動
エマージング				
DBXT MSEmer	J0M	USD	10	MSCI エマージング指数に連動
DBXT MSEmerAsi	J0N	USD	10	MSCI エマージング・アジア指数に連動
Lyxor EmergingMkts	H1N	USD	10	MSCI エマージング指数に連動
Lyxor LatinAmerica	H1O	USD	10	MSCI エマージング・ラテン指数に連動
ヨーロッパ				
DBXT DJE50	IH0	USD	10	Euro STOXX50 指数に連動
DBXT MSEurope	IH3	USD	10	MSCI ヨーロッパ指数に連動
Lyxor Eastern Europe	H1M	USD	10	東ヨーロッパ指数に連動
Lyxor Europe	JC5	USD	10	MSCI ヨーロッパ指数に連動

グローバル				
DBXT MSWorld	J0P	USD	10	MSCI 世界指数に連動
Lyxor MSCI World	H1P	USD	10	MSCI 世界指数に連動
商品				
Lyxor Cmdty	A0W	USD	10	ロイター・ジェフェリーズ商品指数に連動
Lyxor CRBNonEng	G10	USD	10	ロイター・ジェフェリーズ商品指数 (エネルギーを除く)に連動
GLD	O87	USD	10	金価格に連動
金利				
ABF SG BOND ETF	A35	SGD	1000	シンガポール債券指数に連動
DBXT USMMD	IH4	USD	5	USMMF

■シンガポールの REIT

SGX に上場している REIT には以下の 21 銘柄があり、いずれもシンガポールを中心に東南アジア、オーストラリア、中国などの商業・住宅不動産物件を投資対象としています。また最近では、シンガポール外の不動産に投資するさまざまな REIT が上場されています。

●シンガポールの REIT

銘柄	投資対象	証券コード
AllcoReit	ショッピングモール／オフィス（一部豪州）	ACR
Ascendasreit	工業団地	ARE
AscottREI	サービスアパート	ASR
Cambridge XD	工業団地	CIT
CapitaComm	オフィス	CCT
CapitaMall	ショッピングモール／オフィス	CTM
CDL Htrust	ホテル	CDLT
Fortune Reit HK\$	香港のショッピングモール	FRE
FrasersCT	ショッピングモール	FCPT
K-REIT	オフィス	KRA
MapletreeLog XD	工業団地	MTLT

MMP Reit XD	ショッピングモール／オフィス	MMP
SuntecReit	ショッピングモール／オフィス	SUN
CapitaChina	中国のショッピングモール	CRCT
Saizen	日本のマンション	SZR
First Reit	病院、インドネシアのホテル	FRET
Plife	病院	PLRE
Lippo Maple Trust	インドネシアのショッピングモール	LMT
IndiaBulls Properties Investment Trust	インドの不動産（オフィス）	IBPI
Ascendas IndiaTrust	インドの不動産（オフィス）	ADIT
Macarthurcook Industrial REIT	シンガポールの工業団地	MCPF

■シンガポールのデリバティブ商品

SGX に上場している先物・オプションは株価指数先物と債券・金利先物に大きく分けられます。売買のほとんどは、大阪証券取引所とのアービトラージ（裁定取引）に使われる日経 225 先物・オプションですが、インド市場の株価先物である「CNX Nifty Futures」や、上海・深圳市場の A 株指数先物である FTSE 新華中国 A50 など、エマージング市場を対象としたデリバティブ商品にも力を入れています。

● SGX の株価指数先物・オプション

銘柄	原資産
Nikkei 225 Index Futures	日経 225
Mini Nikkei 225 Index Futures/Options	日経 225 ミニ
USD Nikkei 225 Index Futures	ドル建て日経 225
Straits Times Index Futures	ストリート・タイムズ・インデックス
MSCI Singapore (SiMSCI) Futures/Options	MSCI シンガポール・インデックス
MSCI Hong Kong+ Index Futures	MSCI 香港インデックス
MSCI Japan Index Futures	MSCI ジャパンインデックス
MSCI Taiwan Index Futures/Options	MSCI 台湾インデックス
MSCI Asia APEX50 Futures	MSCI アジア APEX50
CNX Nifty Index Futures	CNX Nifty（インド）インデックス
FTSE Xinhua China A50 Index Futures	FTSE 新華中国 A50

● SGX の金利・債券先物・オプション

銘柄	原資産
10-Year Full-Sized Japanese Govt Bond Futures	10 年日本国債先物
10-Year Mini Japanese Government Bond Futures/ Options	10 年日本国債先物（ミニ）
5-Year Singapore Government Bond Futures	5 年シンガポール政府債
Eurodollar Futures/Options	ユーロドル短期金利
Euroyen LIBOR Futures/Options	ユーロ円 LOBOR
Euroyen TIBOR Futures/Options	ユーロ円 TIBOR
Singapore Dollar Interest Rate Futures	シンガポールドル短期金利
SOR Pricing Model For SGX Singapore Dollar Interest Rate Future	シンガポールドル短期金利

2. フィリップ証券の概要

フィリップ証券はシンガポールの大手金融グループ、フィリップ・キャピタルの系列証券会社で、1996年にシンガポール初のインターネット取引システム POEMS (Phillip's On-line Electronic Mart System) をスタートさせました。POEMS では、シンガポール市場のほか、アメリカや香港・日本などグローバルな株式市場にインターネットでアクセスすることができます。

また系列企業にフィリップ・フューチャーズがあり、こちらは SGX に上場されている株式指数先物などのほか、シカゴ (CME、CBOT) やヨーロッパ (EUREX)、東京 (TCOM、TGE) の先物市場、FX (為替証拠金取引) 市場での取引が行なえます。

POEMS のシステムは証券と先物が統合されており、株式・投資信託・債券・先物・FX など多様な金融商品を同じ取引プラットフォームで売買できます。シンガポールにおいて POEMS の機能と多様性は他の追随を許さず、私たちが証券口座を開設する際の第一選択肢になることは間違いないでしょう。また、フィリップ・フューチャーズともども、シンガポールや東南アジア各国に在住する日本人顧客の開拓にも熱心で、日本人スタッフによるサポートが受けられるのも大きな特徴です。

フィリップ・グループはシンガポール以外に香港・中国・マレーシア・タイ・インドネシア・スリランカ・イギリス・フランスなどで事業を展開しており、日本でも老舗証券会社の成瀬証券を子会社化して話題になりました。

なお、フィリップ・フューチャーズの取引方法については Part4 で詳しく解説しています (P205 参照)。

●フィリップ証券

Phillip Securities Pte Ltd
 250 North Bridge Road
 #06-00, Raffles City Tower
 Singapore 179101
 Tel : +65-6531-1555 (カスタマーサービス)
 +65-6338-6597 (日本語サービス)
 (月～金曜日、AM8 : 45 ~ PM5 : 30)
 Email : poems-otoiawase@phillip.com.sg
<http://www.phillip.com.sg/>

●フィリップ・フューチャーズ

Phillip Futures Pte Ltd
 250 North Bridge Road
 #07-01, Raffles City Tower
 Singapore 179101
 Tel : +65-6538-0500
 (月～金曜日、AM9 : 00 ~ PM6 : 00)
 Email : futures@phillip.com.sg
<http://www.phillipfutures.com.sg/>

■取引できる金融商品

フィリップ証券では以下の金融商品が取引できます。

①株式

取引できる市場は以下のとおり。

- ・シンガポール
- ・香港
- ・上海 B 株 *
- ・深圳 B 株 *
- ・日本
- ・マレーシア
- ・タイ
- ・インドネシア *
- ・フィリピン *
- ・アメリカ
- ・イギリス
- ・韓国 *
- ・カナダ *
- ・オーストラリア *

* 電話取引のみ

② CFD

差金決済による店頭取引。株式の信用取引とほぼ同じ。シンガポール・香港・マレーシアの主要銘柄が対象。詳しくは P153 参照。

③投資信託

シンガポールで登録されたオフショアファンド。手数料の割引あり。最低投資額は S\$1,000。

なお、適格投資家には Man Investment などのヘッジファンドも扱っている。適格投資家の基準は総資産 S\$200 万または年収 S\$30 万以上。

最低投資額は S\$10 万。ファンド・オブ・ファンズの場合は S\$20,000。

④債券

短期シンガポール政府債。最低投資額は S\$1,000。

■口座の種類

フィリップ証券には以下の 7 種類の口座があります。

①キャッシュトレーディング口座 Cash Trading Account

銀行間決済システム GIRO（ジャイロ）を利用した現金決済取引。DBS か POSB（ポスバンク POSBank）に口座が必要。証券は CDP（The Central Depository PTE Limited =シンガポール証券中央預託機関）に預託。

CDP は日本で言う「ほふり（証券保管振替機構）」。シンガポールの CDP を利用すると証券を無料で預託できる。別途、申込みが必要。DBS、POSB、UOB、OCBC、HSBC、Standard Chartered Bank のいずれかに銀行口座を保有していることが条件。

②キャッシュマネジメント口座 Cash Management Account

フィリップ証券内の普通預金口座を決済に利用。CFD と外貨口座にも対応（CFD については P153 参照）。証券は CDP に預託。

③カストディアン口座 Custodian Account

現物取引口座。フィリップ証券に株式を預託。

④マージントレーディング口座 Margin Trading Account

信用取引口座。フィリップ証券に株式を預託。

座維持手数料は免除されます。

マージントレーディング口座の開設にはシンガポール居住者か、シンガポール国内に銀行口座があることが条件となるので、本書ではもっとも一般的なカस्टディアン口座を中心に説明します。私たち日本人には利用機会のないストックオプションや株式積立、空売りのための口座は扱いません。

■取引ツール

証券取引のためのツールとしては以下の4種類があります。

① POEMS Internet：ポエムズ・インターネット

証券取引と先物取引を統合したオンライン取引システム。

② POEMS Mobile：ポエムズ・モバイル

GPRS/WAP プロトコルに対応した携帯端末を利用した取引システム。

③ Telebroker：テルブローカー

タッチトーンを使った電話取引システム

④ PROMS Pro Trader：ポエムズ・プロトレーダー

ヘビーユーザー向けの取引システム。利用手数料は3カ月ごとにUS\$80。

ここではもっとも基本的な POEMS Internet を中心に説明します。これ以外に、フィリップ・フューチャーズが提供する先物取引用の専用ツールもあります（フィリップ・フューチャーズについては Part4 を参照してください⇒ P205 へ）。

■ 売買手数料

以下、取引商品ごとの手数料を紹介します。

① 株式売買の手数料

POEMS でのオンライン株式取引にかかる手数料は以下のとおり。なおシンガポール国内で支払う売買手数料には別途 7% の GST（消費税）が課税される。

(a) 売買手数料

1) SGX（シンガポール市場）

手数料の種類	条件		手数料
売買手数料	売買高	5 万株まで	0.28%
		10 万株まで	0.22%
		10 万株以上	0.18%
最低手数料	通貨	シンガポールドル SGD	S\$25
		米ドル USD	US\$15
		香港ドル HKD	HK\$120
		オーストラリアドル AUD	AU\$25
クリアリング手数料			0.04%（最高 S\$600）
SGX アクセス手数料			0.0075%

※売買手数料・クリアリング手数料・SGX アクセス手数料には別途消費税が課税。

2) マレーシア市場

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.50%
最低手数料	RM60
印紙税	0.10%（最高 1 銘柄 RM200）
クリアリング手数料	0.03%（最高 1 銘柄 RM1,000）

3) アメリカ市場

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.40%
最低手数料	US\$20
SEC 手数料	売却代金に対して 0.00127%

4) 香港市場

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.30% (最低 HK\$170)
印紙税	0.10%* * 端数切捨て
CCASS 手数料	0.01% (最低 HK\$3.0)
取引所税	0.004%
取引手数料	0.005%

5) タイ市場

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.90% (最低 500 バーツ)
消費税	0.0105%

6) 日本市場

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.50%
最低手数料	売買代金の 0.10%+ ¥3,000

7) イギリス市場

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.40%
最低手数料	£ 25
印紙税 (ポンド建て)	0.50% (買いのみ)
印紙税 (ユーロ建て)	1.00% (買いのみ)
PMT 手数料	£ 10,000 超の取引につき £ 1

8) カナダ市場（電話取引のみ）

以下のいずれか最も高い額。

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.40%
最低手数料 1	US\$35
最低手数料 2	1 株あたり C\$0.025%

※手数料には消費税が課税。最低手数料は 1 と 2 のどちらか大きい方。

9) 韓国市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.80%
最低手数料	40,000 ウォン

10) オーストラリア市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.80%
最低手数料	AU\$60

※手数料には消費税が課税。

11) インドネシア市場（電話取引のみ）

手数料の種類	手数料
売買手数料	0.73%
最低手数料	S\$23

※手数料には消費税が課税。

(b) 配当受取手数料

すべての株式には以下の配当受取手数料がかかる。

受取額	手数料
S\$100 未満	S\$1.07
S\$100 超	1.00%
手数料の上限	S\$53.56

※配当には源泉地国で源泉徴収される場合がある。

※手数料は消費税込み。

(c) 信託手数料

信託手数料は、シンガポール株と外国株で異なる。

●シンガポール株

現物取引口座を開設した場合は、以下の信託手数料（口座維持手数料）がかかる。

- ・口座維持手数料：四半期ごと（3・6・9・12月末日）：S\$16.05
- ・免除条件：四半期ごとに最低1回の取引

●外国株

外国株式を保有している場合は、以下の信託手数料がかかる。

- ・外国株信託手数料：1銘柄あたり毎月 S\$2.14（ただし四半期に S\$160.50 が上限）
- ・免除条件：売買代金にかかわらず毎月2回以上の取引

(d) CDP 手数料

キャッシュトレーディング口座、キャッシュマネジメント口座を保有し、CDP（証券保管振替機構）を利用した場合は、売買のたびに以下の株式移管手数料がかかる。

●株式移管手数料

- ・フィリップ証券と CDP 間の移管：1銘柄あたり US\$21.40（税込）
- ・CDP 間の移管：1銘柄あたり US\$10.70（税込）

②投資信託の手数料

POEMS では、通常 5% のオフショアファンドの販売手数料を 1.5 ~ 2.5% にディスカウントしている。またプロモーション期間中のファンドでは、購入金額に応じて最大 1% まで販売手数料がディスカウントされる。

③債券売買の手数料

POEMS で期間 90 日以内の短期シンガポール政府債の売買が可能。売買手数料は Bid と Offer のスプレッドだけで、他に手数料は発生しない。最低投資額は S\$1,000。

Part 4

Phillip Futures

フィリップ・フューチャーズ

1. フィリップ・フューチャーズの概要

■フィリップ・フューチャーズの取扱商品

フィリップ・グループの先物部門であるフィリップ・フューチャーズでは、先物・オプション取引（Futures/Options）と為替証拠金取引（FX）を扱っています。先物・オプション取引では SGX（シンガポール取引所）の上場商品のほか、シカゴやフランクフルト、東京など世界の主要市場のデリバティブ商品を取り扱っています。FX 取引では、米ドル、ユーロ、英ポンド、日本円など主要通貨を対象にレバレッジをかけた投資が可能になります。

本書では日本人投資家に馴染みの深い日経 225 先物・オプションと米ドルー円の FX 取引を中心に解説します。なお、デリバティブ取引はすでにある程度の経験のある投資家を対象にしているため、商品や取引手法、専門用語についての初歩的な説明は省略しています。

■先物・オプション取引

フィリップ・フューチャーズの主要取扱商品は以下のとおりです。

1) SGX（シンガポール）

株式指数	
取引所	銘柄
アメリカ	
シカゴ商品取引所 Chicago Board of Trade (CBOT)	Dow Jones ニューヨーク株価 Mini Dow Jones(\$5) ニューヨーク株価（ミニ） Big Dow Jones ニューヨーク株価（ビッグ）

シカゴ・マーカンタイル取引所 Chicago Mercantile Exchange (CME)	Nikkei 日経 225 Yen-based Nikkei 日経 225 (円建て) S&P 500 S&P500 S&P MidCap 400 S&P400 (中規模企業) E-mini-S&P S&P500 (ミニ) E-mini-S&P ASIA 50 S&P アジア 50 (ミニ) E-mini-S&P Midcap 400 S&P400(ミニ) NASDAQ 100 ナスダック 100 E-Mini NASDAQ 100 ナスダック 100 (ミニ) Russell 2000 ラッセル 2000 E-Mini Russell ラッセル 2000 (ミニ)
ヨーロッパ	
インターコンチネンタル取引所 Intercontinental Exchange (ICE)	S\$ 米ドル CRB CRB 商品先物指数
ユーレックス EUREX	DAX ドイツ株価指数 Euro STX-50 ユーロストックス 50 STX-50 ストックス 50 Swiss Market Index (SMI) スイス株価指数
ロンドン国際金融先物取引所 LIFFE	CAC 40 フランス株価指数 FTSE 100 イギリス株価指数
アジア太平洋	
香港先物取引所 Hong Kong Futures Exchange (HKFE)	Hang Seng ハンセン指数 Mini Hang Seng ハンセン指数 (ミニ) H-Share H 株指数 Mini H-Share H 株指数 (ミニ)
クアラルンプール・オプション金融先物取引所 Kuala Lumpur Options and Financial Futures Exchange (KLOFFE)	KLCI マレーシア株価指数
韓国証券取引所 Korea Stock Exchange (KSE)	KOSPI 韓国株価指数
大阪証券取引所 Osaka Stock Exchange (OSE)	Nikkei 日経 225 Nikkei 225 Mini 日経 225 (ミニ)
東京証券取引所 Tokyo Stock Exchange (TSE)	TOPIX TOPIX Mini-TOPIX TOPIX (ミニ)
シンガポール取引所 Singapore Exchange (SGX)	Nikkei 225 日経 225 USD Nikkei 225 日経 225 (ドル建て) Mini Nikkei 225 日経 225 (ミニ) Straits Times Index シンガポール株価指数 MSCI Singapore MSCI シンガポール株価指数 MSCI Taiwan MSCI 台湾株価指数 MSCI Japan MSCI 日本株価指数 MSCI Asia APEX 50 Index MSCI 東南アジア 50 指数 CNX Nifty インド株価指数 FTSE Xinhua China A50 新華中国 50 指数
シドニー先物取引所 Sydney Futures Exchange (SFE)	SPI200 Sydney Index オーストラリア株価指数

金利	
取引所	銘柄
アメリカ	
CBOT	T-Bonds 米国債（長期） T-Note (10 Year) 米国債（10年） T-Note (5 Year) 米国債（5年） T-Note (2 Year) 米国債（2年）
CME	Eurodollar ユーロドル T-Bills 米国債（短期）
ヨーロッパ	
LIFFE	Japanese Government Bond 日本国債 Long Gilts 英国債（長期） Eurodollar ユーロドル Euribor ユーロ短期金利
EUREX	Euro-bunds ドイツ国債
アジア太平洋	
SGX	Eurodollar ユーロドル Euroyen TIBOR 円短期金利（TIBOR） Euroyen LIBOR 円短期金利（LIBOR） Japanese Government Bond 日本国債 Mini Japanese Government Bond 日本国債（ミニ） 3 Month Singapore Dollar Interest Rate シンガポールドドル金利（3カ月） Singapore Government Bond シンガポールドドル国債
TSE	Japanese Government Bond (JGB) 日本国債 Mini-JGB 日本国債（ミニ）
東京金融先物取引所 TIFFE	Euroyen 円短期金利
通貨先物	
取引所	銘柄
CME	Australian Dollar 豪ドル British Pound 英ポンド Canadian Dollar カナダドル Japanese Yen 日本円 E-Mini Japanese Yen 日本円（ミニ） Euro ユーロ Mexican PESO メキシコ・ペソ New Zealand Dollar ニュージーランド・ドル Renminbi 人民元 Swiss Franc スイスフラン
オプション	
取引所	銘柄
農作物	
CME	Live Cattle 生牛

CBOT	Corn トウモロコシ Soybean 大豆 Wheat 小麦
通貨	
CME	AUD 豪ドル CAN カナダドル EURO ユーロ GBP 英ポンド JPY 日本円
エネルギー	
CME	Crude Oil 原油
株価指数	
CME	Mini S&P S&P500 (ミニ)
CME_CBOT	Dow Jones \$5 ニューヨーク株価 (ミニ)
HKEX	H-Shares H 株指数 Hang Seng ハンセン指数 Mini Hang Seng ハンセン指数 (ミニ)
OSE	Nikkei 日経 225
SGX	Nikkei 日経 225 MSCI MSCI シンガポール株価指数 Taiwan 台湾株価指数
金属	
CBOT	100 oz Gold 金 (100 オンス) 5,000 oz Silver 銀 (5000 オンス)
ニューヨーク商品取引所 COMEX	Gold 金
農産物	
取引所	銘柄
アメリカ	
CBOT	Corn トウモロコシ Mini Corn トウモロコシ (ミニ) Soybeans 大豆 Mini Soybeans 大豆 (ミニ) Soybean Oil 大豆油 Soybean Meal 大豆粕 Wheat 小麦 Mini Wheat 小麦 (ミニ) Oats カラス麦 Rough Rice もみ米
CME	Live Cattle 生牛 Lean Hog 赤身豚肉 Feeder Cattle 肥育牛 Pork Bellies 豚ばら肉 Lumber 110 木材

NYBOT	Coffee コーヒー Cocoa ココア Sugar #11 砂糖 Orange Juice オレンジジュース
カンザスシティ商品取引所 KCBT	Red Hard Winter Wheat 小麦
ヨーロッパ	
LIFFE	Coffee, Cocoa, Sugar コーヒー、ココア、砂糖
アジア太平洋	
KLCE	Crude Palm Oil やし油
シンガポール商品取引所 SICOM	Rubber ゴム
東京穀物商品取引所 TGE	Corn トウモロコシ Robusta Coffee ロブスターコーヒー Arabica Coffee アラビカコーヒー Raw Sugar 砂糖 Soybeans 大豆 Soybeans (Non-GMO) 大豆 (遺伝子組換えなし) Red Bean 小豆
東京工業品取引所 TOCOM	Rubber ゴム
エネルギー	
取引所	銘柄
アメリカ	
ニューヨーク・マーカンタイル取引所 NYMEX	Crude Oil 原油 Mini Crude 原油 (ミニ) Heating Oil #2 灯油 Natural Gas 天然ガス Mini Natural Gas 天然ガス (ミニ) Gasoline ガソリン
ICE	Brent Crude ブレント原油 Gas Oil ガスオイル WTI Crude W T I 原油
TOCOM	Kerosene ケロシン Gasoline ガソリン Crude Oil 原油
金属	
取引所	銘柄
アメリカ	
COMEX	Gold 金 Silver 銀 Copper 銅
NYMEX	Palladium パラジウム Platinum プラチナ

CBOT	100 oz Gold 金 (100 オンス) 5,000 oz Silver 銀 (5000 オンス) Mini-Sized Gold 金 (ミニ) Mini-Sized Silver 銀 (ミニ)
アジア太平洋	
TOCOM	Gold 金 Silver 銀 Platinum プラチナ Palladium パラジウム Aluminum アルミニウム

■大証と SGX の日経 225

日経 225 先物・オプションは大阪証券取引所の主力商品ですが、SGX と CME (シカゴ・マーカンタイル取引所) にも同じ商品が上場されています。とくに SGX の日経 225 は大証と取引時間を合わせ、鞆取り (アービトラージ) を狙うプロの投資家たちの参加によって売買高を伸ばしてきました。

SGX の日経 225 は、メイン市場である大証に対して優位性を確保するため、CME (シカゴ・マーカンタイル取引所) との相互決済など、さまざまな工夫をしています。

● SGX と大証の比較

		SGX	大証
日経 225	取引サイズ	¥500 × 指数	¥1,000 × 指数
	刻み幅 Tick	5pt (2,500 円)	10pt (10,000 円)
日経 225mini	取引サイズ	¥100 × 指数	¥100 × 指数
	刻み幅 Tick	1pt (500 円)	5pt (2,500 円)
日経 225 オプション	行使価格	125 円刻み	250 円刻み
取引時間 (日本時間)		AM8 : 45 ~ PM3 : 30	AM9 : 00 ~ AM11 : 00
			PM12 : 30 ~ PM3 : 10
		PM4 : 30 ~ AM2 : 00 (翌日決済)	PM4 : 30 ~ PM8 : 00 (翌日決済)

※上記以外の上場商品の概要は各取引所のホームページで確認してください。

※ SGX の日経 225 オプションは大証に比べて取引の板が薄い場合があります。

■主要商品の手数料

フィリップ・フューチャーズの主要取扱商品の手数料は以下のとおりです。オンライン取引で割引手数料が適用されるものもあります。

①日経 225 先物／オプション

	ディーラー	オンライン
大証（ラージ）	¥ 2,500	¥ 2,000
大証（ミニ）	¥ 900	¥ 700
SGX（ラージ）	¥ 1,800	¥ 1,200
SGX（ミニ）	¥ 500	¥ 250
CME	¥ 1,800	¥ 1,500

②株価指数先物

1) SGX（シンガポール）

	ディーラー	オンライン
MSCI シンガポール	S\$18	S\$12
MSCI 台湾	US\$15	US\$12
ストレイツ・タイムズ Index	S\$12	S\$10
CNX Nifty Index	US\$18	—

2) HKFX（香港先物）

	ディーラー	オンライン
ハンセン	HK\$110	HK\$80
ミニ・ハンセン	HK\$40	—
H 株 Index	HK\$110	HK\$80

3) EUREX（ユーレックス）

	ディーラー	オンライン
Fdax	EUR15	EUR12
DJ Euro Stoxx 50	EUR15	EUR12
Euro STX-50	EUR15	EUR12
STX-50	EUR15	EUR12

4) CBOT (シカゴ)

	ディーラー	オンライン
Mini Dow Jones	US\$15	US\$12
Dow Jones Index	US\$15	US\$12

5) CME (シカゴ・マーカンタイル)

	ディーラー	オンライン
Nasdaq 100	US\$15	US\$12
S&P 500	US\$15	US\$12
E-mini S&P	US\$15	US\$12

6) TSE (日本)

	ディーラー	オンライン
TOPICS	¥3500	—
JGB	¥3500	—

7) LIFFE (ロンドン)

	ディーラー	オンライン
FTSE 100	£ 12.5	£ 10

③通貨先物

CME (シカゴ・マーカンタイル)

	ディーラー	オンライン
Australian \$	US\$17.5	US\$15
British Pound	US\$17.5	US\$15
Canadian \$	US\$17.5	US\$15
Japanese Yen	US\$17.5	US\$15
Swiss Franc	US\$17.5	US\$15
Euro Currencies EUR	US\$17.5	US\$15
New Zealand \$	US\$17.5	US\$15
Mexican Peso	US\$17.5	US\$15

④金利・債券先物

SGX (シンガポール)

	ディーラー	オンライン
Eurodollar	US\$15	—
Euro-yen (Tibor)	¥1500	—
Euro-Yen (Libor)	¥1500	—
JGB 10 Yr Bond	¥1200	—

⑤商品先物

	ディーラー	オンライン
TOCOM (東京工業)	¥2000	¥1500
TGE (東京穀物)	¥2000	—

■為替証拠金取引と FX Invest 取引

①為替証拠金取引

為替証拠金取引 (FX) の取引通貨は以下のとおりです。

一部の通貨は取引ロットを 10 分の 1 にした Mini FX も扱っています。たとえば米ドル-円取引の場合、フルサイズは 1 単位 US\$100,000 ですが、ミニサイズは 1 単位 US\$10,000 で取引できます。

●取引通貨

フルサイズ ×100,000	ミニサイズ ×10,000
AUD/JPY	○
AUD/NZD	○
AUD/SGD	○
AUD/USD	○
AUD/CHF	○
AUD/CAD	×

CAD/JPY	○
CAD/CHF	×
CAD/SGD	×
CHF/JPY	○
CHF/SGD	○
EUR/AUD	○
EUR/CHF	○
EUR/GBP	○
EUR/JPY	○
EUR/SGD	○
EUR/USD	○
EUR/CAD	×
EUR/NZD	×
GBP/CHF	○
GBP/JPY	○
GBP/SGD	○
GBP/USD	○
GBP/NZD	○
GBP/AUD	×
GBP/CAD	×
NZD/JPY	○
NZD/SGD	○
NZD/USD	○
NZD/CAD	×
NZD/CHF	×
SGD/JPY	○
USD/CAD	○
USD/CHF	○
USD/JPY	○
USD/SGD	○

AUD：オーストラリアドル
 NZD：ニュージーランドドル
 USD：米ドル
 CAD：カナダドル
 GBP：英ポンド

JPY：円
 SGD：シンガポールドル
 CHF：スイスフラン
 EUR：ユーロ

為替証拠金取引の手数料は無料で、売買スプレッドはドル円で2銭程度です。

② FX Invest 取引

フィリップ・フューチャーズでは為替証拠金取引以外に外貨現金の両替も行っており、これを FX Invest と呼んでいます。両替可能な通貨は以下のとおりです。

●取引通貨

USD/CAD	USD/CHF	USD/JPY
USD/SGD	USD/HKD	EUR/USD
EUR/GBP	EUR/SGD	EUR/JPY
AUD/JPY	AUD/NZD	AUD/SGD
AUD/USD	GBP/JPY	GBP/SGD
GBP/USD	CHF/SGD	CHF/JPY
CAD/JPY	CAD/SGD	JPY/SGD
HKD/SGD	NZD/SGD	NZD/USD
USD/IDR (閲覧のみ)	USD/MYR (閲覧のみ)	USD/THB (閲覧のみ)
MYR/SGD (閲覧のみ)		

HKD：香港ドル

IDR：インドネシアルピア

MYR：マレーシアリング

THB：タイバーツ

FX Invest の手数料は無料で、売買スプレッドはドル円で25銭程度です。

■フィリップ・フューチャーズの取引ツール

フィリップ・フューチャーズの取引ツールには以下のものがあります。

① POEMS

フィリップ証券の POEMS Internet の取引プラットフォームで先物・FX を売買できる。

② POEMS Professional

フィリップ・フューチャーズが提供する先物取引用の上級プラットフォーム。日本語版もあり。利用料無料。

③ FX365

フィリップ・フューチャーズが提供する FX 取引用の上級プラットフォーム。利用料無料。

④ P Trader

POEMS と POEMS Professional を合体させた上級バージョン。有料。

⑤ IQ Trader

さまざまなテクニカル指標を表示できる上級プラットフォーム。有料。

⑥ Strategybot

自動売買システム。有料。

*

このうち本書では、無料で利用できる POEMS、POEMS Professional、FX365 を紹介します。

日経 225 を取引する際の両者の違いは、POEMS では先物しかオンラインで取引できないのに対し、Professional では先物・オプションのオンライン取引が可能なことです。

FX 取引では、POEMS は 10 万通貨単位の FX Pro と 10,000 通貨単位の Mini FX を使い分けられるのに対し、FX365 は 10,000 通貨単位の取引になるものの、最少取引額が 50,000 通貨単位の Regular FX と 10,000 通貨単位の Mini FX のいずれかを申込時に選択することになります。

POEMS と POEMS Professional および FX365 の異なる取引プラットフォームを併用することはできないので、どちらを利用するかあらかじめ検討が必要です。

サンプル版のご注意

本 PDF はサンプル版のため、目次と一部ページのみを抜粋して掲載しています。
実際の「海外投資実践マニュアル5 シンガポール改訂版 2.0」は、
総ページ数が 273 ページとなります。

海外投資を楽しむ会 (AIC)

「ゴミ投資家」シリーズの制作スタッフを中心に 1998 年に設立。翌 99 年から海外投資の情報交換サイトを運営。
2010 年 4 月現在で会員数 16,000 人。

海外投資を楽しむ会 URL <http://www.alt-invest.com>

海外投資実践マニュアル ⑤

シンガポール

2006 年 12 月 25 日 初版第 1 刷発行

2010 年 4 月 25 日 改訂版第 1 刷発行

編著者 海外投資を楽しむ会

発行所 有限会社オルタ・インベスト・コム
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-13-6-901

FAX 0422-28-5006

<http://www.alt-invest.com>

E-mail: info@alt-invest.com

編集・DTP 有限会社パラダイス・ロスト
表紙デザイン 深沢英次

落丁・乱丁はお取替えます。
本書の全部、または一部を複製・複製、および磁気・光記憶媒体に入力することを禁じます。

Printed in Japan

©Alt Invest Com Ltd. 2010